

プログラム構成

本プログラムは Climb 1～6 の6つのレベルで構成されています。

Climb 1 & 2 EXPLORE (テーマ: 探検)

自分が生きる世界と自分自身がどのようにつながっているのかについて考え、理解を深めていきます。

Climb 3 & 4 EXTEND (テーマ: 拡張)

世界と自分自身への理解を深め、自分が何をすべきか考えていきます。

Climb 5 & 6

(2023年改訂版準備中)

Climb 1 「自分自身、他者、そして世界についての認識を持つ」

 UNIT1 MY BEGINNING Going Global 積極的に学び、参加する。世界に対して好奇心を持ち、「グローバルな自分」に対する意識を高める。	 UNIT2 ABOUT ME My Global Identity 自分が何者であるかを説明し、他者をどのように見ているかを考える。他者とのつながりを理解することで、自らのグローバルなアイデンティティを成長させる。	 UNIT3 MY HOME Making the World My Home 世界中の「ホーム」の多様性に対する認識を深め、自身が快適だと感じるゾーンから一歩外へ踏み出す。	 UNIT4 MY COMMUNITY Living in a Global Society 「コミュニティ」とは何かを探求し、グローバルなコミュニティにおける多様性の力について認識を深める。	 UNIT5 MY WORLD Discovering the World 多様な文化について理解を深めることで、好奇心を育てていく。	 UNIT6 MY GLOBAL THINKING Global Citizenship 他者とのつながりや協力を大切に、世界を思いやることで、地球市民としてのアイデンティティを高めていく。
---	--	---	--	--	---

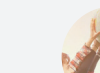
Climb 2 「自己の成長を振り返り、他者や世界と自分がどのようにつながっているかを考える」

 UNIT1 MY BEGINNING Going Global 自分の成長と目標について、また、自分自身が他者や世界とどのようにつながっているかを考える。	 UNIT2 ABOUT ME My Global Identity 多様な人々について学び、自分自身の個性的な物語を語る。ストーリーテリングについて学ぶ。	 UNIT3 MY HOME Making the World My Home 居心地のよい感覚とは何か、どうすれば同じ感覚を馴染みのない場所で感じられるかを考える。	 UNIT4 MY COMMUNITY Living in a Global Society 地域社会がどのように変化していくのかに着目し、地域社会や国際社会に貢献するために何ができるかを考える。	 UNIT5 MY WORLD Discovering the World 文化がどのようにつながり混ざり合い変化していくのかについて学ぶ。	 UNIT6 MY GLOBAL THINKING Global Citizenship 持続可能な開発目標 (SDGs) について理解を深め、それがどのように自分や他者の生活に結びつくかを考える。
--	--	---	--	---	---

Climb 3 「自分自身、他者、そして世界について、幅広い認識を深め、行動につなげる」

 UNIT1 WALKING INTO THE WORLD グローバルな世界において、多様な文化や人々とつながる上で、言語習得に必要なマインドセットを学ぶ。	 UNIT2 VIEWPOINTS AND VIEWFINDERS 人によって異なる視点があることを意識し、発散的思考を用いながら他者と視点を共有する。	 UNIT3 LOOKING IN, REACHING OUT マインドセットとモチベーションに着目し、困難に立ち向かう方法を学ぶ。	 UNIT4 OUR DIVERSE WORLD 異文化を体験し、効果的に交流するために必要なスキルや考え方について理解を深める。	 UNIT5 DESIGNING OUR WORLD デザイン思考を用いて、SDGs と自身が世界に与える影響について考える。	 UNIT6 GLOBAL CITIZENSHIP SDGs のために影響のある行動について考え、協調的かつ創造的に考えることで、地球市民として成長する。
--	--	--	---	--	---

Climb 4 「自己のさらなる成長を促し、リーダーシップを持って他者と共に世界に向けた行動を起こす」

 UNIT1 WALKING INTO THE WORLD コンフォートゾーンを広げ、世界に踏み出しても挑戦を重ねられるよう、グローバルなマインドセットを構築する。	 UNIT2 VIEWPOINTS AND VIEWFINDERS 独自のレンズによって同じ世界でも見え方が変わってくることを意識し、レンズを変えることで世界をより深く理解する。	 UNIT3 LOOKING IN, REACHING OUT リーダーシップの本質を学び、リーダーとして必要な考え方を身につける。	 UNIT4 OUR DIVERSE WORLD 多様性に焦点を当て、相手の考え方や感情を意識し、共感できる部分からつながりを築くには何ができるかを考える。	 UNIT5 DESIGNING OUR WORLD デザイン思考を用いて、SDGs に目を向けてもらうためのワークショップを企画する。	 UNIT6 GLOBAL CITIZENSHIP UNIT5 で企画したワークショップに取り組み、グローバル市民として構築してきたマインドセットは何か振り返る。
--	---	--	--	---	---



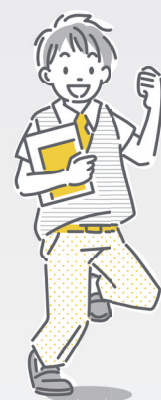
Global Competence Program

ISA



WHY? なぜ Global Competence を学ぶのか？

VUCA の時代を生きるのに必要な 「資質・能力」(コンピテンス)習得のため



WHAT? 何を学ぶのか？

グローバルコンピテンスプログラム(GCP)とは、OECD(経済協力開発機構)が提唱するキー・コンピテンスの概念に則り、アイエスエイが開発したグローバルリーダー育成プログラムです。日本の生徒に適したグローバルコンピテンスの在り方を追求し、Student Centered Learningを通じて、グローバルマインドの醸成を図ります。

具体的には、

6

つの領域を学習していきます。



HOW? どうやって学んでいくのか？

1. Student Centered Learning の学習スタイル

- ▶ 答えのない問いをグループでのアクティビティを通して、生徒と一緒に考えます。
- ▶ 「Pack(予習)⇒Climb(授業)⇒Unpack(復習)」という学習の流れの中で、生徒が主体的に学んでいきます。

2. アカデミックチームによる高度なカリキュラム

- ▶ 経験豊富なアカデミックスタッフが日本の中高生に適したグローバルコンピテンスの在り方を追求し、カリキュラム開発を担当しております。具体的には……
- ✓ GCP は6つのユニットで構成されています。各ユニットにはそれぞれテーマがあり、グローバルコンピテンスの学習を効果的にサポートできるよう設計されています。
- ✓ 1つのユニットには5コマの授業があり、授業ごとにトピックと学習目標が掲げられ、生徒はプログラム全体の共通テーマと、ユニットごとのテーマについて学習していきます。

3. 授業の1コマとして展開

- ▶ カリキュラムの中に組みこんで授業の中で展開します。中学1年生から高校3年生まで最大6年間の期間を通して実施できるようにデザインされており、生徒1人1人にしっかりグローバルコンピテンスを根付かせます。
- ▶ GCP は1年で合計30コマの授業数となっています。グローバルコンピテンスの学習を複数年継続できるよう各ユニットの目標・テーマが設定されています。



4. 共通言語は英語

- ▶ GCP の授業は全て英語で行われます。生徒には英語の流暢さを求めるのではなく、間違いを恐れずに発信することを促します。グローバル社会でのコミュニケーション手段としての英語の役割を認識させ、英語学習の必要性を実感するため、自然に英語を使うことへの抵抗感がなくなり、学習意欲が増します。

5. GCP専任講師がチームティーチングによる授業を展開

- ▶ 指導経験豊富な GCP 専任講師が学校の先生とのチームティーチングにより、授業を展開します。
- ▶ チームティーチングによる化学反応を通じて、学習効果を最大化します。

6. ICT の活用 (Digital Learning)

- ▶ テクノロジーの利用により、創造的かつ刺激的な学びをしていきます。
- ▶ デジタルリテラシーの向上を目指します。

7. スタート学年から段階を経て学べるサステナブルな教育

- ▶ 6つのレベル(Climb)のご用意がございます。生徒のレベルや学校様のニーズに応じてスタートレベルを決定し、そこから段階的に学ぶレベルを上げていくことが可能です。(詳細は裏面をご覧ください。)

1 Communication Skills

様々な場面における多様な相手に対しての効果的なコミュニケーション能力を習得する。また、文化の違いが及ぼすコミュニケーションへの影響に対する理解を向上させる。

体験後の感想

- ✓ 間違っても話さなきゃ伝わらない事を知った。
- ✓ 言葉だけでなく表情や気持ちを込めてコミュニケーションを取れるようになった。
- ✓ 完璧な英語を話そうとするのではなく、相手とコミュニケーションを積極的にとることを優先して話せるようになった。
- ✓ コミュニケーションはとにかく前向きにやることが大切だとわかった。
- ✓ 分からないなりに自分の伝えられる範囲で伝えるよう努力するようになった。

2 Multilingual Skills

言語の習得に効果的な多言語での学習方法を身につけ、グローバル社会でのコミュニケーション手段としての英語の役割と英語が自己の目標達成を助けるものであるという理解を深める。

体験後の感想

- ✓ 語彙が少ないながらも、言い方の工夫や表現で、コミュニケーションの幅が広がりました。
- ✓ 自分の中で分かる言葉を使って話そうとする姿勢に変化したと思う。
- ✓ 海外の人とコミュニケーションを取るためには英語を自由に使えることが基本だと学んだ。
- ✓ 英語を喋れることが自らの行動圏を広げることにつながると知り、英語を勉強する姿勢が変わって成績が伸びた。

3 Intercultural Skills

不慣れな環境で生きる能力の習得、自分自身の文化的価値観では理解できない異なる価値観や信念が存在することを理解し、異文化に属する人々への理解と配慮ができる感性を身につける。

体験後の感想

- ✓ 日本の文化とは違う文化がある事を学んで新しい文化を受け入れる、発見していくことが大事だと思うことができた。
- ✓ それぞれの文化によって考え方や、物の見方が違うことを学ぶことができた。
- ✓ 異文化について、自分とは異なる意見を持つ人に対して前向きな印象、受け入れる気持ちを自然に抱けるようになった。
- ✓ この世界には自分が知っている文化だけではなく多様な文化がそれぞれの国にはあって、それを否定せずに理解しあって生きていくことが必要だと改めて思えた。

4 Thinking Strategies

クリティカル・シンキング(批判的思考力)を使って地域社会やグローバル社会での問題について議論することにより、異なる思考方式を学び、応用する。

体験後の感想

- ✓ あらゆる物事に対してクリティカルシンキングを駆使することによって様々な視点から物事を見られるようになり、より考えが深くなった。
- ✓ なぜそうなのか本質を考えるようになった。
- ✓ 一つの言葉や問いに対して客観的な見方と主観的な見方ができるようになった。
- ✓ 様々な物事について、多面的かつ自律的に考えることができるようになった。

5 Emotional Intelligence

自己認識、モチベーション、適応力、共感、自己管理、人との交流などの EQ(Emotional Intelligence Quotient「心の知能指数」)能力を向上させる。

体験後の感想

- ✓ 前なら何も考えずに言葉を発していたけど相手の気持ちを考えて、話す事が増えた。
- ✓ 他者の感情に共感する能力が身についた。
- ✓ 自分を信じて仲間を信じるのが大切だと改めて学んだ。
- ✓ 物事を客観的に見られるようになり、冷静に事態を把握して対処できるようになった。
- ✓ 自分と相手の考え方が異なっても素直に受け入れられるようになった。

6 Global Action

リーダーシップ、プロジェクト開発能力、チーム・ビルディング能力の習得、さらにボランティアや募金活動、イベント運営などを通して地域社会とグローバル社会との関わりを持つ。

体験後の感想

- ✓ 何かとえられたことをやるのではなく、一から自分たちで考え、新しいものを生み出していく。ここから自分たちで考えて行動することの重要性を学んだ。
- ✓ 前よりも人のために動くことや、自分に何が出来るのかを考え、それを行動に移すことが楽しくなりました。
- ✓ もっと世界を引っ張っていきような存在になりたい。
- ✓ 夢を持って行動することが大事だということ学びました。